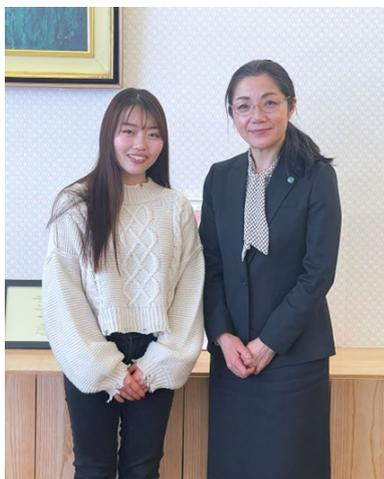


2024 年度

東京都立大学 健康福祉学部



## 学生自治会長と学部長の座談会



西村ユミ 健康福祉学部長

三浦琉奈 学生自治会長  
(作業療法学科)

(西) 座談会へようこそ。国家試験も終わり落ち着いた頃でしょうか。

(三) はい。自己採点が済んで合格発表を待っているところです。(自信あり！)

(西) さっそくですが、学内のお話から聞かせてください。

健康福祉学部の特徴はどんな点ですか。

(三) 学科間の距離が近いところだと思います。学科内の学生間の距離も近いですね。

(西) 近いというのは、具体的に。

(三) 例えば、国家試験対策を教室の予約をして一緒に勉強しますし、仲はいいと思います。

(西) 作業療法学科で、

教員と学生の距離感はいかがですか。

(三) 担任の先生がいて面談もあるので、

先生と話す機会があり、話しやすい環境です。

困ったことがあれば、まず担任に相談します。





また、教員の個性に合わせて、相談する先生を決めたりもします。

将来、自分がなりたい職種を経験している先生に、現場の話を聞いたり就活の相談をして、進路の参考にする友人が多いです。

(西) 作業療法学科の特徴は何でしょうか。

(三) 3年生が教材から準備し2年生に教える「総合演習」があります。学年を超えた交流ができて他学科から羨ましいと言われます。自分の勉強にもなって、とても良い経験でした。

(西) 本学を受験したきっかけ又は動機は何でしょうか。

(三) 高校生の時、医療体験があり作業療法を体験したことがきっかけで「作業療法学科」に進もうと決心しました。

具体的に「多職種、地域密着カリキュラム」と検索すると、

都立大健康福祉学部がヒットし、オープンキャンパスに参加しました。その時小林教授のミニ講義を聞いて、この先生に学びたい!と思い、本学を受験しました。



(西) 青鳩祭（学園祭）でも活躍していましたね。

2024年度の青鳩祭の入場者が過去最高でしたが、何か工夫があったのでしょうか。

(三) 近所に青鳩祭のチラシをポスティングしたことと、近隣の荒川遊園でチラシを配布した効果かもしれません。

チラシを配布している時、荒川区に都立大健康福祉学部があることを知らない方が多くて驚きました。まずは、健康福祉学部の存在を知ってもらうこと、発信することが大事だと思いました。

(西) 最後に、大学や後輩へ向けてメッセージはありますか。

(三) 健康福祉学部内で、学年を超えた交流がもっとあったほうが良いと思っていたので、自治会でイベントを開催し交流の機会を作りたかったです。残念ながらできませんでしたので、次の自治会長、自治会に託します！

